記 者 発 表 資 料

平成２４年　３月３０日
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
能代河川国道事務所

『事故ゼロプラン』（事故危険区間重点解消作戦）進行中！

～事故防止対策効果報告～

～『事故ゼロプラン』新たに６箇所を抽出～

「平成23年度　秋田県道路交通環境安全推進連絡会議」実施報告

国土交通省では、限られた予算の中で交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、「事故ゼロプラン」を平成２２年１２月に策定し、交通事故対策を進めております。

「事故ゼロプラン」では、事故データや地域の声などに基づき、平成２４年３月２３日開催の「秋田県道路交通環境安全推進連絡会議」において、委員、アドバイザーのご意見を踏まえ、交通事故対策を優先的に進める事故危険区間を57区間から63区間に見直しました。今後も事故原因に即した効果の高い対策について、集中的・重点的に取り組んでいきます。





【記者発表先】　秋田県政記者クラブ

〈問い合わせ先〉
国土交通省　秋田河川国道事務所　道路管理第二課長　岡部　武彦　TEL:018-864-2292
国土交通省　湯沢河川国道事務所　道路管理課長　酒井　宏　TEL:0183-73-5350
国土交通省　能代河川国道事務所　道路管理課長　三浦　邦彦　TEL:0185-70-1276

事故危険区間の新規追加区間

路線名	管理事務所	箇所名	キロ程
国道7号	能代河川国道	大館市釈迦内 （釈迦内山神台交差点）	388.10kp.～ 388.80kp.
		大館市立花（立花交差点）	379.55kp.
		能代市松長布～寺向	331.25kp.～ 331.65kp.
	秋田河川国道	秋田市土崎港西四丁目	276.45kp.
国道46号	秋田河川国道	仙北市角館町西長野	69.00kp.～ 69.33kp.
	秋田河川国道	大仙市協和荒川	79.60kp.～ 81.80kp.

【対策効果の検証　①;国道7号港大橋前交差点】

H24.2.7に
評価結果を公表

右折信号と連動した埋め込み型視線誘導灯の設置
～【県警と連携した事故対策の実施】～



● 背 景 ～事業前の港大橋前交差点の状況～

○死傷事故率は233.3件億台キロ（H18～21）。
○事故の形態は右折直進事故と追突事故が多く、特に夜間に発生する事故が多い。

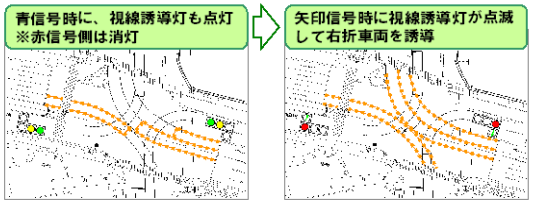
走行・停止位置の安定化による右折直進事故の削減、注意喚起による追突事故の削減を目的とした対策を実施。

● 実施対策

供用：平成２２年３月

■ 右折直進事故対策（夜間）　⇒　『埋め込み型視線誘導灯』の設置

・夜間や、冬期間の積雪が数ｃｍ程度の状況でも視認可能な「埋め込み型視線誘導灯（自発光式）」により、右折導流路及び待機時の停止位置を明確化



■ 右折直進事故対策（昼間）　⇒　適切な『右折導流標示』の設置

・ハンドル操作がスムーズになる「右折導流標示」を設置
・対向車に影響しない安全な位置で待機できる「停止線」を設置



■ 追突事故対策（昼間）　⇒　『カラー舗装』『ドットライン』の設置

・右折車線への「カラー舗装」により走行区分を明確化し、滞留車両への注意を喚起
・直進車線に「ドットライン」を設置し、視覚的に幅員を狭く見せることにより速度を抑制



【事業、施策のねらい】
夜間及び冬期間（降雪時）の右折導流路の視認性を向上

【事業、施策の結果】
対策後、右折直進の事故が半減

● 対策の効果

■ 交通事故の危険性が低下!!

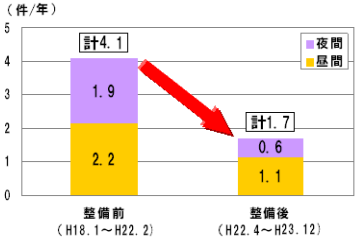
○整備前後の死傷事故(全事故)の変化

埋め込み型視線誘導灯等の整備によって「全事故件数」が大幅に減少！

対策実施前に平均4.1件/年発生していた事故が対策後には1.7件/年と6割近く削減。

特に「夜間事故」の削減率が高い!!

特に、ターゲットとしていた夜間事故は対策後に7割近く削減。

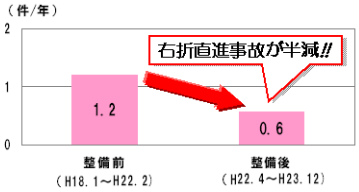


■ 右折直進事故の危険性が低下!!

○整備前後の右折直進事故の変化

埋め込み型視線誘導灯の整備によって「右折直進事故」が半減!!

対策実施前に年間で平均1.2件発生していた「右折直進事故」が対策後に半減（0.6件/年）。

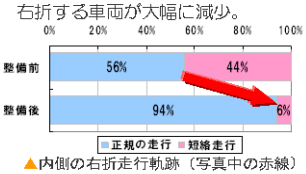


■ 事故につながるような危険な右折車も減少!!

○整備前後の交通挙動の変化

埋め込み型視線誘導灯の整備によって「右折走行軌跡」が安定！

内側の右折車線において、短絡走行（ショートカット）により右折する車両が大幅に減少。



▲内側の右折走行軌跡（写真中の赤線）



● 今後の展開

- 継続的な効果評価、追加対策の必要性検討
- 他の事故多発箇所（同様の事故パターン発生）への展開
- 取り組みの道路利用者への広報、周知（マスコミの活用等）

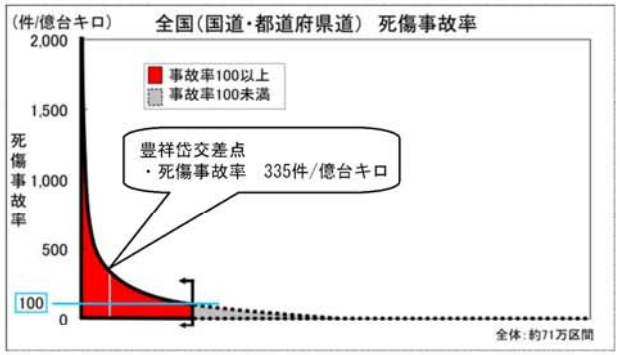
【対策効果の検証　②;国道7号豊祥岱交差点】

対策期間:H22.6～7

データに基づく箇所選定

●国道7号豊祥岱交差点は、
平成16年～平成19年までに死傷事故が11件発生
これは死傷事故率では335件/億台キロであり、全国的に見ても事故が多く発生している箇所

【死傷事故率曲線】



【位置図】



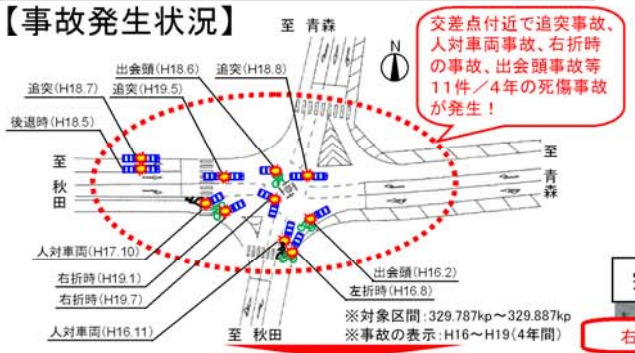
データに基づく対策メニュー選定

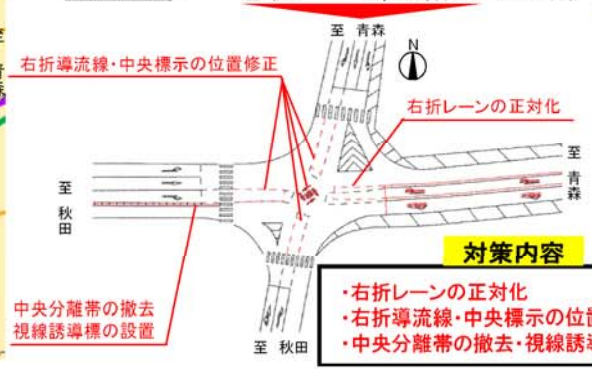
●右折レーン同士の食い違いが生じているため、右折待ち車両が壁となり、下り右折レーン滞留車からの上り直進車の視認性が悪いことから、右折時の事故が発生している

↓

右折レーンの正対化及びそれに伴う
右折導流線・中央標示の位置修正、
中央分離帯の撤去、視線誘導標の設置

【事故発生状況】



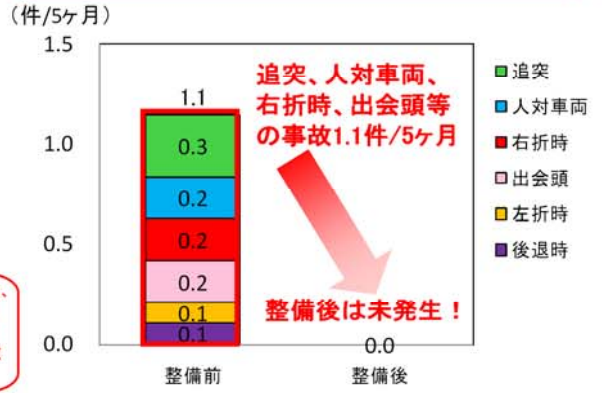


対策内容

・右折レーンの正対化
・右折導流線・中央標示の位置修正
・中央分離帯の撤去・視線誘導標の設置

効果の把握

**右折レーンの正対化等の対策により、
整備後は交差点付近の事故が未発生！**



※対策前:H16～H19の事故件数の平均値
※対策後:H22.8～H22.12の事故件数
資料:イタルダデータ(H16～H19)、
交通事故マッチングデータ(H22)



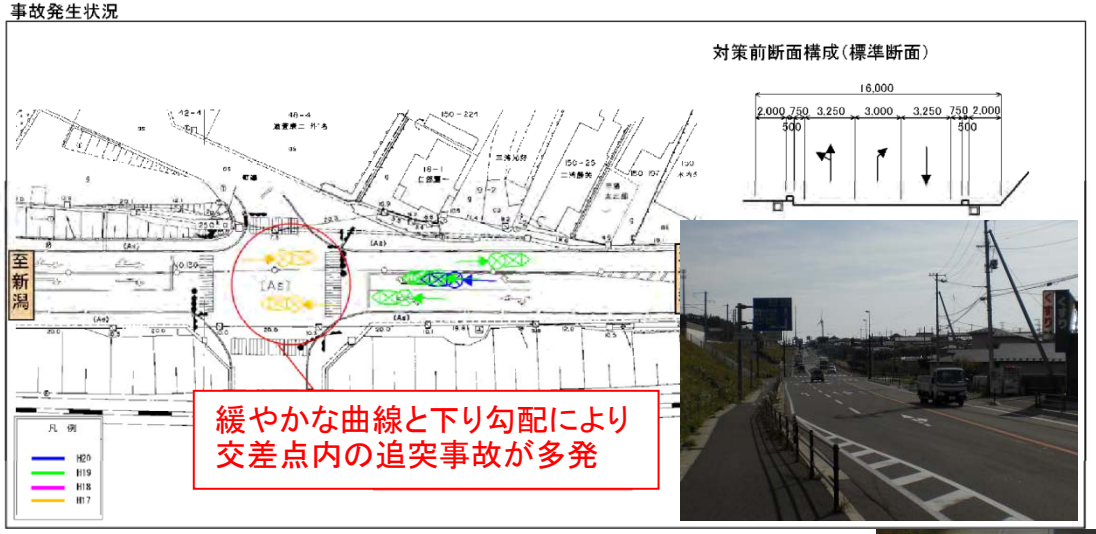
H23年度の事故対策実施状況①

路線名	管理事務所	事故危険区間No.	箇所名	キロ程
国道7号	秋田河川国道	公表区間No.3	由利本庄市岩城内道川字川向 （岩城IC入口交差点）	250.01kp.

□対策内容：カラー舗装

＜整備前＞

事故発生状況



＜整備後＞



H23年度の事故対策実施状況②

路線名	管理事務所	事故危険区間No.	箇所名	キロ程
国道13号	湯沢河川国道	公表区間No.41	大仙市戸蒔字谷地添 （戸蒔交差点）	249.70kp.

□対策内容：カラー舗装

＜整備前＞

事故発生状況





・直進車と左折車の混在に伴う交差点付近の追突事故が多発
・急な右折車両の存在に伴う交差点内の右折時事故が多発

＜整備後＞

ドットラインやカラー舗装、「追突注意」路面標示によりドライバーへ注意喚起



右折誘導線内のカラー舗装、「対向車注意」路面標示により右折車両へ注意喚起



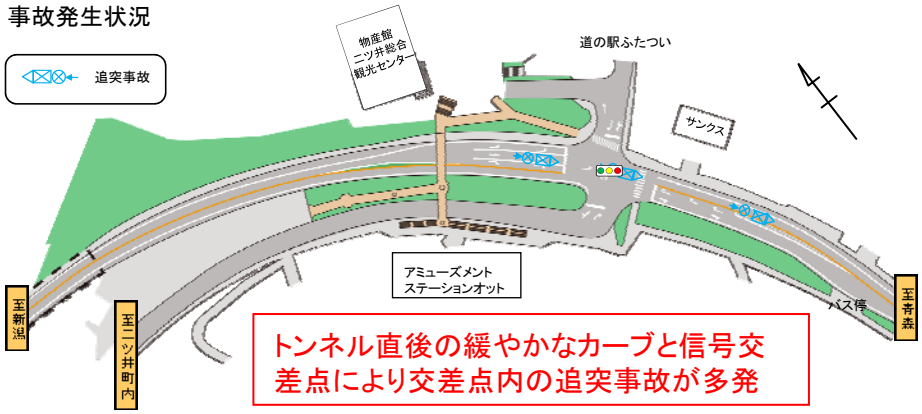
H23年度の事故対策実施状況③

路線名	管理事務所	事故危険区間No.	箇所名	キロ程
国道7号	能代河川国道	公表区間No.22	能代市二ツ井町小繋 （きみまち阪交差点）	354.62kp.

□対策内容：カラー舗装

＜整備前＞

事故発生状況



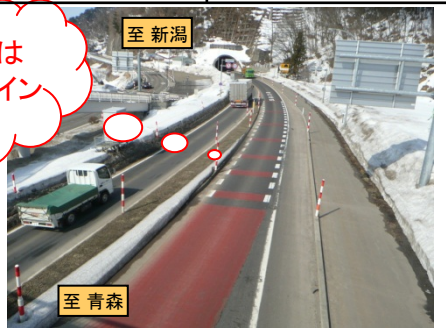
トンネル直後の緩やかなカーブと信号交差点により交差点内の追突事故が多発





＜整備後＞

手前にはドットラインを整備





カラー舗装によりドライバーへ注意喚起